

各学部・学科の教育目的と各学科の入学者受入れに関する方針 (アドミッション・ポリシー)

〈文学部〉

学部・学科		教育目的	入学者受入方針
文学部		人間の本质と文化的所産を人文諸科学の観点と方法により探究し、探究の過程と成果に基づき、時代と社会の要請に応じうる有為な女性を育成することを目的とする。	<p>武庫川女子大学文学部は、「立学の精神」にうたわれる“高い知性”、“善美な情操”、“高雅な徳性”を兼ね備えた有為な女性を育成するために、大学生活を通してディプロマ・ポリシーに掲げる資質・能力を養い、主体性・論理性・実行力を培う教育を実践します。その趣旨に賛同すると共に、入学前に以下の能力を有する女性の入学を求めます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 高等学校までの教育課程を幅広く修得し、基礎学力を有している。 2. 人文諸科学の勉学に積極的に励む姿勢を持っている。 3. 将来に向けて明確な目的意識を持っている。 4. 感性豊かな心と健やかな体を養っている。 5. 多様な人々と協同して学ぶ態度を有している。 <p>また、開設する学科のそれぞれの専門性やディプロマ・ポリシーに掲げる資質・能力を持つ人材像に対応する、透明性の高い公正な入学者の選抜試験を複数の機会及び方法で行います。</p>
文学部	日本語日本文学科	日本語日本文学の教育研究を通じて、健全な社会の構築と発展に寄与することのできる、有為な女性を養成することを目的とする。	<p>本学科は「立学の精神」とそれに基づく「教育目標」に賛同し、かつ卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）および教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な次に掲げる知識や技能、意欲を備えた女性を求めます。</p> <p>日本の言語・文学・文化に関心を持ち、それらの学修を通して得た専門的知識と論理的思考力とを活かして、①高いコミュニケーション能力を有する職業人として社会に貢献しようという意欲を持った人、また②中学校の国語科教諭、高等学校の国語科または書道科教諭、学校図書館司書科教諭、日本語教員、図書館司書、博物館学芸員の職業に就き、それぞれの分野で活躍し、社会に高く貢献しようという意志を持った人。</p> <p>具体的には、高等学校で国語総合をはじめとして現代文、古文を十分に学び、外国語にも一定の知識と関心を持ち、文系・理系とも幅広く学習して基礎的な学力を確保していることが求められます。</p>
	英語文化学科	英語英米文化文学の教育研究を通して、言語や文化、文学を深く理解し、自文化のみならず異文化の優れた理解者として、実践的に英語を使って国際社会で活躍できる有為な女性を養成することを目的とする。	<p>本学科は「立学の精神」とそれに基づく「教育目標」に賛同し、かつ卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）および教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な次に掲げる知識や技能、意欲を備えた女性を求めます。</p> <p>国際社会で通用する知識や英語力を身につけ、社会で活躍しようとする者を受け入れます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 知識・理解 <ol style="list-style-type: none"> ①入学前には国語、英語、地理歴史、公民のほか、数学や理科といった教科も幅広く履修し、基礎知識を備えている人 ②入学後は欧米の文学・文化、言語・語学、ビジネス・コミュニケーションに関する基礎的および専門的な知識を修得しようとする人 2. 技能・表現 <ol style="list-style-type: none"> ①高いコミュニケーション能力を有する職業人として社会に貢献しようという意欲を持った人 3. 思考・判断 <ol style="list-style-type: none"> ①本学科の学修を通して得た専門的知識と論理的思考力等を生かし、自ら課題を発見・解決する能力を身につけ、社会に貢献しようという意欲を持った人 4. 態度・志向性 <ol style="list-style-type: none"> ①入学後にアメリカ分校へ4ヶ月間留学し、英語運用能力や異文化理解・活用力を身につけようという意欲を持った人 ②国際社会で通用する幅広い知識と確かな英語力を身につけ、公的機関や民間企業で活躍しようという意欲を持った人 ③中学校・高等学校の英語科教諭、学校図書館司書科教諭、図書館司書の職に就き、それぞれの分野で活躍し、社会の発展に寄与しようという意欲を持った人
	心理・社会福祉学科	実力あるところの専門家、福祉のスペシャリストを養成することにより、共に生きる人びとに共感できるやさしさと強さをあわせもち、人・社会の幸福の実現に寄与することのできる実力のある女性の育成を目的とする。	<p>本学科は「立学の精神」とそれに基づく「教育目標」に賛同し、かつ卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）および教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、次に掲げる知識・技能・意欲を備えた女性を求めます。</p> <p>人を支援することに高いモチベーションを有し、公認心理師、認定心理士、社会福祉士、精神保健福祉士などになることや、これらに必要な資質や能力を高めることによって、豊かな社会の実現に貢献しようとする者を受け入れます。豊かな社会の実現に貢献するためには、あらゆる場面で知識を活用し思考する力を問われます。したがって、文系・理系という狭い枠にとらわれず、国語、英語、地理歴史、公民のほか、数学、物理、化学、生物といった科目をできる限り幅広く履修し、確かな基礎知識を備えておくことを求めます。</p>

各学部・学科の教育目的と各学科の入学者受入れに関する方針 (アドミッション・ポリシー)

〈教育学部〉

学部・学科		教育目的	入学者受入方針
教育学部	教育学科	<p>立学の精神と教育推進宣言に則り、平和で民主的な社会の形成者として、新しい時代の要請を視野に入れつつ教育についての理論と実践を学び、教育界に貢献する女性の育成を目的とする。</p> <p>この目的のもと、豊かな人間性と創造的能力を基礎に、高い資質・能力を有し、人間としての優しさを身につけた教育者を育成する。</p>	<p>本学部・学科は「立学の精神」とそれに基づく「教育目標」に賛同し、かつ卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）および教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な次に掲げる知識や技能、意欲を備えた女性を求めます。</p> <p>本学部・学科が育成しようとする資質・能力の基礎となる学力や思考力・判断力を有し、教育や保育について明確な目的意識を持って積極的に勉学に励もうとする意欲ある女性を受け入れます。また、本学科では、小学校教諭一種・幼稚園教諭一種・中学校教諭一種（国語）（英語）・特別支援学校教諭一種免許状および保育士資格が取得できますので、特に教員や保育者として活躍するための資質・能力を高めようとする熱意や責任感を有する者を受け入れます。高い資質・能力を持つ教員または保育者となるためには、文系・理系という枠組みに捉われず、国語、英語、日本史、世界史、数学、化学、生物などの科目を幅広く履修し、確かな基礎学力を備えておくことを求めます。</p>

〈健康・スポーツ科学部〉

学部・学科		教育目的	入学者受入方針
健康・スポーツ科学部	健康・スポーツ科学科	<p>科学的知識に裏づけられた体育・スポーツの研究とその実践を通して、心身の健康並びに体力の保持増進について指導的役割を担う、幅広い分野の健康・スポーツに関わる指導者、保健体育に関わる教育者を養成することを目的とする。</p>	<p>本学部は「立学の精神」とそれに基づく「教育目標」に賛同し、かつ卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）および教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な次に掲げる知識や技能、意欲を備えた女性を求めます。</p> <p>本学科は、「Sports for All の時代をリードできる人」を養成するという教育目的を持っています。したがって、健康・スポーツを科学的・専門的に学ぼうとする強い意欲を持ち、次のような現場において活躍・貢献しようとする学生の入学を求めます。</p> <ol style="list-style-type: none"> ①教育および生涯学習における運動指導現場において、健康・スポーツ教育の充実に貢献しようとする者 ②競技スポーツにおけるジュニア期以降のスポーツ指導・サポート現場において、優れたコーチングとトレーニング指導によって競技力向上に貢献しようとする者 ③地方自治体や企業・民間のスポーツ施設における施設・プログラム管理現場、医療・福祉施設・幼児施設等における運動・フィットネス指導現場において、スポーツ・運動・身体活動を通じた健康支援に貢献しようとする者 ④スポーツ関連の企業や団体、スポーツイベントの企画・運営などのスポーツビジネス分野で活躍しようとする者 <p>〈入学時まで身に付けてほしい学力・能力〉</p> <p>本学科は、競技力の向上や健康で豊かな社会の構築に関わる幅広い指導者養成のため、健康・スポーツを科学的・専門的に探求する多様な学修を展開しています。そこで主体的な勉学の習慣に加えて、大学入学時まで、次のような学力や能力、スポーツの実践力を研ぎ、入学後の学修に臨むことを求めます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 知識・技能および思考力・判断力・表現力 <ol style="list-style-type: none"> ①国語や英語等で学ぶ読解力・構成力・論理的表現力と、そこから得られるコミュニケーション力 ②地理歴史や公民等で学ぶ基礎的な知識と、そこから得られる社会を読み解く力 ③数学や理科等で学ぶ基礎的な知識と、そこから得られる論理的・科学的な思考力 2) 主体性を持って多様な人々と協働する力 <ol style="list-style-type: none"> ①集団活動における主体性、コミュニケーション力、リーダーシップ、高い倫理観 3) 体育やスポーツ分野における実践力 <ol style="list-style-type: none"> ①各種スポーツの技術・技能、スポーツの実践力とそれに係る体力、スポーツ実践の経験知

各学部・学科の教育目的と各学科の入学者受入れに関する方針 (アドミッション・ポリシー)

〈生活環境学部〉

学部・学科		教育目的	入学者受入方針
生活環境学部		人間が生活空間において生き、情報を利用して多様な生活を選び、さらに快適で美的な生活環境を築く知識と知恵を生み出すことのできる有為な女性を育成することを目的とする。	人間が快適で美的な生活環境を築く知識と知恵を生み出すことを目的とした分野を学ぶ本学部は、生活環境学科・情報メディア学科の2学科より構成し、次のような資質をもつ入学者を受け入れます。 ・「立学の精神」とそれに基づいて教育目標に賛同し、生活を科学的に考え、生活をより豊かにすることに関心のある女性を求めます。 ・さらに各学科が定める卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）および教育課程編成実施の方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、各学科が掲げる知識・技能・意欲を備えた女性を求めます。
生活環境学部	生活環境学科	衣服、インテリア、住居、建築から、街・都市空間、地球環境までを連続した生活環境としてとらえ、さらにこれに関わる歴史や生活文化的視点も取り入れながら、理系と文系の考え方を融合させた幅広い視野に立って、新しい時代に対応できる人間性豊かな、専門性と創造的能力を持った有為な女性を育成することを目的とする。	本学科は「立学の精神」とそれに基づく「教育目標」に賛同し、かつ卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）および教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な次に掲げる知識や技能、意欲を備えた女性を求めます。 1. 知識・理解 ①入学前には、国語、英語、数学、世界史、日本史、化学、生物といった科目を幅広く履修し、基礎知識を備えている人 ②入学後は、生活環境に関して、文化的、社会的、科学的、工学的、造形的な観点からの基礎的・専門的な知識を修得しようとする人 2. 技能・表現 生活環境を構成する事象に対し、定量的、論理的、創造的なアプローチから学ぼうとする人 3. 思考・判断 新たな課題に対し、論理的に考え、問題を解決しようとする人 4. 態度・志向性 社会性を有し、他者と協調・協働して社会の発展に貢献する態度や、生涯にわたり自立して学び続けるための意欲や向上心を身につけようとする人
	情報メディア学科	個人の生活に及ぼす情報の力が增大する高度情報化社会において、さまざまな情報を利用・活用して最も適切な生活行動を設計し、他人と協働しながら社会的な営みに積極的・主体的に参画し、個性を活かしつつ、自立して人生を切り開くために、知識と技術と感性と行動力を身に付けた有為な女性を育成することを目的とする。	本学科は、「立学の精神」とそれに基づく「教育目標」に賛同し、かつ卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）および教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、次に掲げる知識・技能・意欲を備えた女性を求めます。 情報やマルチメディアの知識・技術を活かして情報化社会の健全な発展に貢献したいという意欲を持っている人物を求めます。 具体的には次のような目標を持つ人を歓迎します。 ・あふれる情報に振り回されず、情報の真の価値を判断する力を身につけたい。 ・生活への深い洞察力和多様なメディアを使いこなす技能を習得したい。 ・自分の個性を大切にして、クリエイティブな人生を実現したい。 ・幅広い教養と豊かな感性を身につけ、社会に貢献したい。 そのため、本学科では、講義形式の授業だけでなく、アクティブラーニングやPBL型授業など、教員と学生、学生同士が議論や協働することを主体とした授業も多数用意しており、学生はあらゆる場面で知識を活用し思考する力を問われます。したがって、入学前に、文系・理系という狭い枠にとらわれず、情報科はもとより、国語、英語、地理歴史、公民のほか、数学、物理、化学、生物といった科目をできる限り幅広く履修し、確かな基礎知識を備えておくことが望まれます。この基礎知識は、入学後の専門分野の授業の内容を理解するためにも重要です。 さらに入学後、何をすべきかということについて明確な目的意識を持っていなければなりません。授業の履修だけでなく、あらゆる機会を学びの場と捉え、さまざまな課外活動にも主体的に取り組む積極的な姿勢を持つ女性を求めます。

各学部・学科の教育目的と各学科の入学者受入れに関する方針 (アドミッション・ポリシー)

〈食物栄養科学部〉

学部・学科		教育目的	入学者受入方針
食物栄養科学部		生活習慣病予防、健康維持及び増進に有効な食生活の改善を指導するための能力を有し、豊かな人間性に立脚して、食生活を通じて人々の健康に貢献できる有為な女性を育成することを目的とする。	本学部は「立学の精神」とそれに基づく「教育目標」に賛同し、かつ卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）および教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な次に掲げる知識と技能、意欲等を有する女性を求めます。 知識と技能については、高等学校で履修する教科・科目を幅広く修得し、大学で学ぶための基礎学力を有する者、もしくは同等の知識と技能を有する者を求めます。具体的には、入学前に、栄養学や食品学の基本となる化学（化学基礎・化学）および生物（生物基礎・生物）において十分な基礎学力を有していることと、化学や生物だけではなく「管理栄養士」として、あるいは「食の専門家」として、必要な問題解決能力や実践的能力を得るため、国語、外国語、数学、地理歴史、公民等の科目も幅広く学習していることを求めます。
食物栄養科学部	食物栄養学科	食物栄養の分野にとどまらず、公衆衛生学、臨床医学、栄養学、栄養教育、臨床栄養学、公衆栄養学分野等の専門的な知識と技術を広く学び、その応用と研究により学びを深めることを通じて、管理栄養士として必要とされる実践的指導力、高い意欲と創造性を身につけることを目的とする。	本学科は「立学の精神」とそれに基づく「教育目標」に賛同し、かつ卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）および教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な次に掲げる知識や技能、意欲を備えた女性を求めます。 高い基礎学力とモチベーションを有し、高度な問題解決能力および実践的能力を身につけた管理栄養士となって、生活習慣病の発症予防・重症化予防と健康増進に貢献しようとする者を受け入れます。 具体的には入学前に、栄養学や食品学の基本となる化学（化学基礎・化学）および生物（生物基礎・生物）を学習していることが求められます。また、化学や生物だけではなく管理栄養士として必要な問題解決能力や実践的能力を得るためには、国語、外国語、数学、地理歴史、公民等の科目も幅広く学習していることが求められます。
	食創造科学科	初年次よりキャリア意識を育みながら、栄養士関連科目を修得して専門性を高め3年次後期には全員に食産業企業へのインターンシップ参加を義務づける。在学中の就業体験を通じて、実践的な知識を深め、人間形成・キャリア形成を図り、次世代の食産業を牽引する女性人材の輩出を目的とする。	本学科は「立学の精神」とそれに基づく「教育目標」に賛同し、かつ卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）および教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な次に掲げる知識や技能、意欲を備えた女性を求めます。 高い基礎学力とモチベーションを有し、高度な問題解決能力および実践的能力を身につけた「食の専門家」となって、食産業界に貢献しようとする意欲を持つ者を受け入れます。 具体的には入学前に、栄養学や食品学の基本となる化学（化学基礎・化学）および生物（生物基礎・生物）を学習していることが求められます。また、化学や生物だけではなく食の専門家として必要な問題解決能力や実践的能力を得るためには、国語、外国語、数学、地理歴史、公民等の科目も幅広く学習していることが求められます。

〈建築学部〉

学部・学科		教育目的	入学者受入方針
建築学部		大学院建築学専攻修士課程と連続した6年一貫教育によって、女性の感性を活かし、国内はもとより国際的に活躍できる、高度知的専門職人としての建築家及び建築に関わる分野の専門家を養成することを目的とする。	本学部は、建築学科、景観建築学科の2学科より構成し、次のような資質を持つ入学者を受け入れます。 「立学の精神」とそれに基づく「教育目標」に賛同し、社会に貢献できる建築・景観設計技術者を目指そうとする女性を求めます。さらに各学科が定める卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）及び教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、各学科が掲げる知識や技能、意欲を備えた女性を求めます。
建築学部	建築学科	「真」「善」「美」の修得と同時に、価値基準が異なる「真」「善」「美」を互いに総合する能力を養い、安全で、使い易く、美しい、真に人間的な住環境を創生する基礎的能力を、UNESCO-UIA 建築教育憲章に対応した世界水準の学びを通して培うことを目的とする。	本学科は「立学の精神」とそれに基づく「教育目標」に賛同し、かつ卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）及び教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な次に掲げる知識や技能、意欲を備えた女性を求めます。 建築の三大要素である、「強」「用」「美」の視点から、またさらに広い「真」「善」「美」の視点から、建築や都市空間を総合的に理解するとともに、これら「真」「善」「美」を総合し真に人間的な住環境を創生する基礎的知識や能力を習得する上で必要な、高等学校卒業レベルの基礎学力を有し、かつグローバル社会に貢献できる国際的通用性を備えた建築設計技術者を目指そうとする者を受け入れます。具体的には入学前に、数学（数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A、及び数学Bのうち数列、ベクトル）、物理（物理基礎、物理）だけでなく、国語、英語、地理歴史、公民等の科目も幅広く学習していることが求められます。
	景観建築学科	「真」「善」「美」の修得と同時に、価値基準が異なる「真」「善」「美」を互いに総合する能力を養い、安全で、使い易く、美しい、真に人間的な住環境を創生する基礎的能力を、自然との共生や景観映像情報技術の幅広い学びを通して培うことを目的とする。	本学科は「立学の精神」とそれに基づく「教育目標」に賛同し、かつ卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）及び教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な次に掲げる知識や技能、意欲を備えた女性を求めます。 建築の三大要素である、「強」「用」「美」の視点から、またさらに広い「真」「善」「美」の視点から、建築や都市空間を総合的に理解するとともに、これら「真」「善」「美」を総合し真に人間的な住環境を創生する基礎的知識や能力を習得する上で必要な、高等学校卒業レベルの基礎学力を有し、かつ自然と共生する社会に貢献できる建築・景観設計技術者を目指そうとする者を受け入れます。具体的には入学前に、数学（数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A、及び数学Bのうち数列、ベクトル）、物理（物理基礎、物理）だけでなく、生物、国語、英語、地理歴史、公民等の科目も幅広く学習していることが求められます。

各学部・学科の教育目的と各学科の入学者受入れに関する方針 (アドミッション・ポリシー)

〈音楽学部〉

学部・学科		教育目的	入学者受入方針
音楽学部		理論と実践を通じて、音楽知識・技術及び東西文化の普遍的な美的価値観を追求するとともに、音楽応用を探究し、文化・社会の発展に寄与する音楽家をはじめ、音楽の指導者、音楽応用の専門家育成することを目的とする。	<p>本学部は「立学の精神」や教育目的に賛同し、本学部の卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）および教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために、つぎに掲げる知識や技能、意欲を備えた女性の入学を求めます。</p> <p>①音楽を深く愛する心と明確な目的意識を有している。 ②幅広い教養と基礎学力を有し、音楽に関する専門家として社会に貢献したいという強い意欲を持っている。 ③高度な専門性と深い知識や技術、教養を身につけるために、勉学に励み研鑽を積み積極性を持っている。 ④人間性およびバランスのとれた国際感覚を備えた音楽に関する専門家を目指す意欲を持っている。</p>
音楽学部	演奏学科	音楽演奏を通して、豊かな人間性と幅広い教養、高い専門知識・技術を養い、演奏家、指導者として文化・社会の発展に寄与する有為な女性を養成することを目的とする。	<p>本学科は「立学の精神」とそれに基づく「教育目標」に賛同し、かつ卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）および教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な次に掲げる知識や技能、意欲を備えた女性を求めます。</p> <p>豊かな演奏技術の上に、人に感銘を与える演奏について自ら考え、高い芸術性を希求し、感性、技術、知性を磨き、心に響く演奏能力を身につけようとする情熱・意欲のある者。</p>
	応用音楽学科	豊かな人間性と幅広い教養、音楽専門知識・技術に基づく音楽の応用によって、地域・社会の活性化及び人間の心身の健康の維持・安定に貢献できる有為な女性を養成することを目的とする。	<p>本学科は「立学の精神」とそれに基づく「教育目標」に賛同し、かつ卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）および教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な次に掲げる知識や技能、意欲を備えた女性を求めます。</p> <p>音楽を演奏という点からではなく、音楽を利用・活用する点から学ぼうとする者で、音楽療法にみられる障がい者、高齢者、傷病者等に対する精神的に良好な作用、生きがいの構築といった音楽の応用に加え、アートマネジメント、生涯学習、音楽教育、レクリエーションといった地域・社会における音楽指導及び音楽活動に有効な技能や企画・運営力を身につけようとする情熱・意欲のある者。</p>

〈薬学部〉

学部・学科		教育目的	入学者受入方針
薬学部		幅広い教養と人間性豊かな専門知識を基盤として、医療と薬並びに健康に関する多様な分野で、医療人としての薬剤師をはじめ、薬の創製・管理、衛生薬学、薬事行政などの諸活動を通して、薬学に課せられた社会的使命を遂行し得る有為な女性を養成することを目的とする。	<p>本学部は「立学の精神」とそれに基づく教育目標に賛同し、かつ修了認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）およびその教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な次に掲げる知識や技能、意欲を備えた女性を求めます。</p> <p>1) 自主的・積極的に勉学する態度や習慣、考える力を身につけ、生涯にわたり勉学を続ける意欲がある。 2) 人を思いやり、人のために尽くす精神を有し、常に自己を磨くことに努力を惜しまない。 3) 自然科学への強い関心と探求する心を持ち、科学的事実に基づいて自らの考察と行動をすることに努力する。 4) 薬剤師業務、新薬の創製・開発、医薬品の管理・情報提供、衛生薬学そして薬事行政などの職業に魅力を感じ、これらの職業を通して人のために貢献しようとする情熱がある。 5) 高等学校までに学ぶべき事項を幅広く修得し、入学後の学修に必要な基礎科学力と英語力を身につけている。</p>
薬学部	薬学科 (6年制)	薬剤師として高度な臨床能力と実践力を有し、医療人としての使命感を持ち、病院・薬局などの医療機関をはじめ、薬の専門家としてあらゆる場面で活躍できる有為な女性を養成することを目的とする。	<p>本学科は「立学の精神」とそれに基づく「教育目標」に賛同し、かつ卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）および教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な次に掲げる知識や技能、意欲を備えた女性を求めます。</p> <p>1) 幅広い教養と基礎学力を有し、将来薬剤師資格者として、医療や健康・福祉その他の分野で社会貢献したいという強い意欲がある。 2) 医療や健康・福祉等に携わる者としての使命感と倫理観を持っている。 3) 科学的な思考力と問題提起・解決能力を身につけることの重要性を理解できる。 4) 医療人としての思いやりと協調性、コミュニケーション能力を育んで、薬の専門家として医療の発展に貢献できる。 5) 自ら学ぼうとする強い意欲、地道に努力する勤勉さがある。</p>
	健康生命薬科学科 (4年制)	健康科学、生命科学を重視した薬科学教育によって、研究機関、医薬品関連業界、環境衛生行政など、薬と健康に関連した多彩な分野で社会に貢献できる有為な女性を養成することを目的とする。	<p>本学科は「立学の精神」とそれに基づく「教育目標」に賛同し、かつ卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）および教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な次に掲げる知識や技能、意欲を備えた女性を求めます。</p> <p>1) 自然科学に興味を持っており、自ら学ぼうとする強い意欲、地道に努力する勤勉さがある。 2) 研究に関わる者としての使命感を持ち、研究者の倫理観を理解できる。 3) 科学的な思考力、問題解決能力や真実に基づく考察の重要性を理解できる。 4) 薬学研究に取組み、研究成果を通して、人類の健康と福祉に貢献したいという強い意志がある。もしくは中学・高等学校の理科教員として後継者育成活動に寄与したいという強い意志がある。</p>

〈看護学部〉

学部・学科		教育目的	入学者受入方針
看護学部	看護学科	豊かな人間性に裏づけられた感性を生かし、様々な健康レベルの人々（患者）を生活者としてとらえ、豊かな人間性と高い倫理観、科学的根拠に裏づけられた行動力をもって、心身両面にわたってトータルケアのできる未来志向の看護実践者を育成することを目的とする。	<p>本学科は、「立学の精神」とそれに基づく「教育目標」に賛同し、かつ卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）および教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、次に掲げる知識・技能・意欲を備えた女性を求めます。</p> <p>〈求める人材像〉</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 看護師として保健・医療・福祉分野へ貢献する意欲がある人 2. 人の気持ちや考え方を尊重し、人間関係を築こうとする行動力のある人 3. 自ら進んで学習を続けていける人 4. 柔軟な考え方ができ、看護を探究していける人 5. 人間の理解の基本となる基礎学力（生物・化学・数学・英語等）を身につけた人

〈経営学部〉

学部・学科		教育目的	入学者受入方針
経営学部	経営学科	思い描く未来や興味に応じて自在に組み合わせることができる3つのスタディーズ（学びの分野）を用意。経営学を幅広く学び、グローバルとローカル（グローバル）な視点・多面的な視点を培いながら、目指す将来に生かせる専門性・実践力を身に付けることを目的とする。	<p>本学部・学科では、「立学の精神」とそれに基づく「教育目標」に賛同し、かつ卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）および教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、次に掲げる知識・技能・能力・態度・興味・意欲を備えた女性を求めます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 知識と技能 入学までに履修する教科・科目を幅広く修得し、大学で学ぶための基礎学力を有する者、もしくは同等の知識と技能を有する者 2. 思考・判断力と表現力 人や社会、自身が目指す将来キャリアについて、これまで習得した知識や情報をもとにして、筋道を立てて自分の考えをまとめ、それを文章や口頭で表現できる者 3. 主体性と協働的態度 社会的な活動に主体的に、かつ他者とコミュニケーションをとりながら協働して取り組むことのできる者 4. 興味と意欲 経営学を中心とする本学科での学びに興味を持ち、その学びを自らの将来キャリアをデザインするための知識、技能として活用しようとする意欲を有する者

各学部・学科の教育目的と各学科の入学者受入れに関する方針 (アドミッション・ポリシー)

〈短期大学部〉

学部・学科		教育目的	入学者受入方針
短期大学部	日本語文化学科	日本語・日本文学・日本文化の教育を通じて、健全な社会の構築と発展に寄与することのできる、有為な女性を養成することを目的とする。	<p>本学科は「立学の精神」とそれに基づく「教育目標」に賛同し、かつ卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）および教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な次に掲げる知識や技能、意欲を備えた女性を求めます。</p> <p>日本の言語・文学・文化に関する深い教養に裏付けられた、日本語によるコミュニケーション力の獲得を目指し、学修を通して得た専門的知識と論理的思考力を活かして、職業人として社会に貢献しようという意欲を持った人、中学校の国語科教諭、図書館司書等の職に就き、それぞれの分野で活躍し、社会の発展に寄与しようという意志を持った人。</p> <p>そのためには、国語（現代文・古文）に習熟するとともに、文系・理系の科目をバランスよく学んで、基礎的な学力を確保していることが求められます。</p>
	英語キャリア・コミュニケーション学科	実用的な英語の習得を通してキャリア教育を行い、英語コミュニケーション能力と国際感覚を有する実務型の有為な女性を養成することを目的とする。	<p>本学科は「立学の精神」とそれに基づく「教育目標」に賛同し、かつ卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）および教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な次に掲げる知識や技能、意欲を備えた女性を求めます。</p> <p>国際社会で通用する知識や英語力を身につけ、社会で活躍しようとする者を受け入れます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 知識・理解 <ol style="list-style-type: none"> 入学前には国語、英語、地理歴史、公民のほか数学、物理、化学、生物といった科目や理科といった教科も幅広く履修し、基礎知識を備えている人 入学後は欧米の言語・文学・文化に関する基礎的および専門的な知識を修得しようとする人 技能・表現 <ol style="list-style-type: none"> 高いコミュニケーション能力を有する職業人として社会に貢献しようという意欲を持った人 思考・判断 <ol style="list-style-type: none"> 本学科の学修を通して得た専門的知識と論理的思考力等を生かし、自ら課題を発見・解決する能力を身につけ、社会に貢献しようという意欲を持った人 態度・志向性 <ol style="list-style-type: none"> 入学後にアメリカ分校へ4ヶ月間留学し、英語運用能力や異文化理解・活用力を身につけようという意欲を持った人 国際社会で通用する幅広い知識と確かな英語力を身につけ、公的機関や民間企業で活躍しようという意欲を持った人 中学校の英語科教諭、図書館司書の職に就き、それぞれの分野で活躍し、社会の発展に寄与しようという意欲を持った人
	幼児教育学科	立学の精神と教育推進宣言に則り、平和で民主的な社会の形成者として、新しい時代の要請を視野に入れつつ教育についての理論と実践を学び、教育界に貢献する女性の育成を目的とする。この目的のもと、豊かな人間性と創造的能力を基礎に、高い資質・能力を有し、人間としての優しさを身に付けた教育者を育成する。	<p>本学科は「立学の精神」とそれに基づく「教育目標」に賛同し、かつ卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）および教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な次に掲げる知識や技能、意欲を備えた女性を求めます。</p> <p>本学科が求める基礎学力とそれらを活用するための基礎的な思考力と判断力を有し、明確な目的意識を持って積極的に勉学に励もうとする意欲ある女性を受け入れます。また、本学科では能力に応じて、幼稚園教諭2種免許状および保育士資格が取得できますが、これらの免許・資格を必要とする領域で活躍するための資質・能力を、2年間で高めようとする熱意や責任感を有する者を受け入れます。高い資質・能力を持つ教員または保育士となるためには、文系・理系という枠組みに捉われず、国語、英語、日本史、世界史、数学、化学、生物などの科目を幅広く履修し、確かな基礎学力を備えておくことを求めます。</p>
	心理・人間関係学科	心理学を中心とした学際的な視点から「こころ」の問題を学ぶことにより、自分を理解し他者と理解・共感しあえるこころを育て、人生のさまざまなライフ・ステージにおいて人びとと共に生き、人びとに援助の手をさしのべることのできる実践力をもった有為な女性を養成することを目的とする。	<p>本学科は「立学の精神」とそれに基づく「教育目標」に賛同し、かつ卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）および教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、次に掲げる知識・技能・意欲を備えた女性を求めます。</p> <p>人と関わることに高いモチベーションを有し、かつ心理学を体系的に学び、「自分らしきを見つける」「家庭をつくり支える」「自分を社会に生かす」「コミュニティーに参加する」など、積極的に未来の自分を創造し、社会で活躍しようとする者を受け入れます。積極的に未来を創造し、社会で活躍するためには、あらゆる場面で知識を活用し思考する力を問われます。したがって、文系・理系という狭い枠にとらわれず、国語、英語、地理歴史、公民のほか、数学、物理、化学、生物といった科目をできる限り幅広く履修し、確かな基礎知識を備えておくことを求めます。</p>

各学部・学科の教育目的と各学科の入学者受入れに関する方針 (アドミッション・ポリシー)

〈短期大学部〉

学部・学科		教育目的	入学者受入方針
短 期 大 学 部	健康・スポーツ学科	科学的に裏づけられた理論と体育・スポーツの実践をおこない、心身の健康ならびに体力の保持増進について、指導的役割を担う有為な女性を養成することを目的とする。	<p>本学科は「立学の精神」とそれに基づく「教育目標」に賛同し、かつ卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）および教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な次に掲げる知識や技能、意欲を備えた女性を求めます。</p> <p>本学科は、「Sports for All」の時代をリードできる人」を養成するという教育目的を持っています。したがって、健康・スポーツを科学的・専門的に学ぼうとする強い意欲を持ち、次のような現場において活躍・貢献しようとする学生の入学を求めます。</p> <p>①教育および生涯学習における運動指導現場において、健康・スポーツ教育の充実に貢献しようとする者</p> <p>②競技スポーツにおけるスポーツ指導・サポート現場において、優れたコーチングとトレーニング指導によって競技力向上に貢献しようとする者</p> <p>③地方自治体や企業・民間のスポーツ施設における施設・プログラム管理現場、医療・福祉施設等における運動・フィットネス指導現場において、スポーツ・運動・身体活動を通じた健康支援に貢献しようとする者</p> <p>〈入学時までに身に付けてほしい学力・能力〉</p> <p>本学科は、競技力の向上や健康で豊かな社会の構築に関わる幅広い指導者養成のため、健康・スポーツを科学的・専門的に探求する多様な学修を展開しています。そこで主体的な勉学の習慣に加えて、大学入学時までに、次のような学力や能力、スポーツの実践力を研ぎ、入学後の学修に臨むことを求めます。</p> <p>1) 知識・技能および思考力・判断力・表現力</p> <p>①国語や英語等で学ぶ読解力・構成力・論理的表現力と、そこから得られるコミュニケーション力</p> <p>②地理歴史や公民等で学ぶ基礎的な知識と、そこから得られる社会を読み解く力</p> <p>③数学や理科等で学ぶ基礎的な知識と、そこから得られる論理的・科学的な思考力</p> <p>2) 主体性を持って多様な人々と協働する力</p> <p>①集団活動における主体性、コミュニケーション力、リーダーシップ</p> <p>3) 体育やスポーツ分野における実践力</p> <p>①各種スポーツの技術・技能、スポーツの実践力とそれに係る体力、スポーツ実践の経験知</p>
	食生活学科	食生活を食物科学、栄養科学、健康科学を中心として多方面から捉え、健康で豊かに暮らせる食生活を指導できる栄養士を養成することを目的とする。	<p>本学科は「立学の精神」とそれに基づく「教育目標」に賛同し、かつ卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）および教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な次に掲げる知識や技能、意欲を備えた女性を求めます。</p> <p>健康で心豊かな食生活を支える実践的な栄養士となって、生活習慣病の発症予防・重症化予防と健康増進に貢献しようとする者を受け入れます。</p> <p>具体的には入学前に、栄養学や食品学の基本となる化学（化学基礎・化学）および生物（生物基礎・生物）を学習していることが求められます。また、化学や生物だけではなく、栄養士として必要な問題解決能力や実践的能力を得るためには、国語、外国語、数学、地理歴史、公民等の科目も幅広く学習していることが求められます。</p>
	生活造形学科 (アパレルコース、インテリアコース)	生活を形造る「衣」と「住」に関する基礎的な事柄を学ぶとともに、専門的な学習を通して創造性と感性を磨くことにより、生活者の視点に立ち幅広く活躍できる有為な女性を養成することを目的とする。	<p>本学科は「立学の精神」とそれに基づく「教育目標」に賛同し、かつ卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）および教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な次に掲げる知識や技能、意欲を備えた女性を求めます。</p> <p>1. 知識・理解</p> <p>①入学前には、国語、英語、数学、世界史、日本史、化学、生物といった科目を幅広く履修し、基礎知識を備えている人</p> <p>②入学後は、生活に関わる事象に対して、文化的、社会的、科学的、工学的、造形的な観点からの基礎的・専門的な知識を修得しようとする人</p> <p>2. 技能・表現</p> <p>生活を構成する事象に対し、定量的、論理的、創造的なアプローチから学ぼうとする人</p> <p>3. 思考・判断</p> <p>新たな課題に対し、論理的に考え、問題を解決しようとする人</p> <p>4. 態度・志向性</p> <p>社会性を有し、他者と協調・協働して社会の発展に貢献する態度や、生涯にわたり自立して学び続けるための意欲や向上心を身につけようとする人</p>